

[様式 1]

令和 5 年度 三 好 市 立 学 校 評 価 報 告 書

学校名(東祖谷中学校)

作成日 令和6年2月1日

校長名(辺見 俊二)

1 総括評価

評価分野	自己評価 (平均値)	自己評価結果の概要	学校関係者評価の概要	次年度の改善策
① 学校経営及び学校運営に関する評価	3.7	①経営方針の明確化, 教職員の研修体制の確立及び教職員の資質向上に向けた取組状況は, 達成できた。	①概ね達成できている。次年度も方針等を地域に伝え, 地域を巻き込んだ教育活動を展開してもらいたい。	①次年度もより円滑な学校運営が行えるように学校・家庭・地域で学校の教育方針の共通理解を図り, 取組を進めていく。
② 教育目標及び教育計画に関する評価	3.5	②学校教育目標やナンバーワン・スクールの具現化と実践, ステップアップ・スクールの実践は, 達成できた。学校行事の精選については, やや課題が見られた。	②学校教育目標, ナンバーワン・スクール及びヤステップアップ・スクールの内容は概ね理解できている。	②行事が集中する時期があるので, 行事の意義等を確認し, 行事の精選に努める。
③ 主要な教育活動に関する評価	4.0	③わかる授業の実践, 学力向上, 道徳教育, 人権教育及び健康・安全教育の取組は, 達成できた。生徒へ寄り添う姿勢をもちつつ, 生徒理解に努めた。	③主要な教育活動に関して, 肯定的な回答を得ている。生徒の体験活動に関しては, それぞれの立場でこれまで以上に協力していきたい。	③「知・徳・体」をバランス良く育成していくために, より一層「チーム東祖谷」として対応できる体制を整備していく必要がある。
④ 保護者や地域との連携等に関する評価	4.0	④学校行事やPTA活動に対して, 保護者・地域はたいへん協力的であり, 教職員も地域へ溶け込もうとしており, 達成できた。	④ほとんどの保護者が参観日や学校行事, PTA活動, ボランティア活動に積極的に参加し, 協働体制ができている。	④今後も, 学校・家庭・地域の連携を密にし, 地域と共に育てる人づくりの教育を実践していく。
⑤ その他, 上記以外に関する評価()	3.8	⑤概ね達成できた。ポジティブ行動支援は, 全教職員の共通理解のもと, 個に応じた支援が行えた。ICT活用に関しては, 継続して取り組んでいく。	⑤子どもたちが安心・安全で, 大切にされる学校であってほしい。子どもたちの健全な発達のために, 保護者も地域も協力は惜しまない。	⑤働き方改革の推進とICTの活用した他校との交流等に取り組んでいく。

(1) 4段階評価とする。

評価基準 4=達成度が 90~100 %
3=達成度が 70~ 90 %
2=達成度が 50~ 70 %
1=達成度が 50% 未満

(2) 総括評価表の「評価(平均値)」については, 「2 分野別評価」の(1)~(5)の評価をそれぞれ平均(小数第1位)したものとす。

(3) 分野別評価の「評価項目」の「その他」については, 各学校において必要事項を記入のうえ評価する。

(4) 総括評価の「評価分野-その他」の項目の()には, 分野別評価の「(5) その他に関する評価」の中から, 特に重要視する事がらを記入する。

(5) 総括評価及び分野別評価の「学校関係者評価の概要」欄は, 学校関係者評価委員会(学校運営協議会も可)において評価された結果をまとめたものを記入する。

(6) 「次年度の改善策」の欄は学校評価委員会及び学校関係者評価委員会において協議された改善策をまとめたものを記入する。